

# 平成22年度経営改善に向けた主な取組内容

---

## 1 医師・臨床研修医の確保と資質向上支援

---

### (1) 医師の人材確保のための方策

- ① 医師確保及び自治医大の卒業生の政策的医療(救急、精神、感染症)実施病院への優先的配  
置について、県当局への要望
- ② 大学附属病院医局に対する医師派遣要請の継続的な実施
- ③ 医師への助成制度
  - ・ 住宅の家賃助成(基準限度額1ヶ月4万円)、学会出張旅費、参加負担金の助成
- ④ 救急勤務医・産科医確保のため、特殊勤務手当の支給(21年10月創設)

### (2) 臨床研修医の確保

魅力ある研修プログラムの検討・充実に努め、将来、本院での勤務を希望する研修医の確保

- ① 医学生向けの病院説明会(レジナビ)に参加〔東京会場(7月)、金沢会場(3月予定)〕
- ② 本院における医学生の実習(4~6月)や見学会の受け入れ(随時)
- ③ 夏季セミナー病院実習交流会へ参加(8月)

---

## 2 看護師及び医療技術者等の育成

---

### (1) 看護師育成事業

#### ① 認定看護師の育成

- ・ 乳がん看護認定看護師教育課程受講中(12月修了予定)
- ・ 感染管理認定看護師教育専門課程受講中(3月修了予定)
- ・ 認定IVR看護師学会認定(4月)

※認定看護師数 3人<がん化学療法看護(6月認定)、緩和ケア、皮膚排泄ケア>

#### ② 認定看護管理者育成

- ・ 認定看護管理者制度教育課程サードレベル受講(8月修了)

### (2) 薬剤師、検査技師等医療技術者育成事業

- ① 研修認定薬剤師の認定更新(7月)
- ② 医学物理士の育成(医学物理コース7月修了)
- ③ 感染制御専門薬剤師の育成

### (3) 各種指定病院として必須な資格取得のための研修参加支援

---

## 3 地域がん診療連携拠点病院としての機能強化

---

地域がん診療連携拠点病院の指定更新を受け、更に、「女性のがん・放射線治療」を特色としたがん診療の機能強化を図る。

- (1) 地域がん診療連携拠点病院の指定更新(4月)
  - (2) 乳腺専門外来の開設(4月)、甲状腺外来、直腸・肛門外来の開設(10月)
  - (3) 5大がん(乳腺・大腸・胃・肝・肺)地域連携クリニカルパスの運用開始(9月)  
(H22.9月末:51医療機関と連携)
  - (4) 地域がん診療連携拠点病院としての診療報酬加算の取得
    - ・ がん治療連携計画策定料(退院時 750点)
  - (5) 緩和ケア研修会の開催(5~6月)
  - (6) 乳がんマンモグラフィ検査の休日実施(日本乳がんピンクリボン運動の一環として10/17日(日)に実施)
  - (7) 施設機能の拡充・強化の検討(外来化学療法室の拡充など)
-

## 4 22年度診療報酬改定に伴う取組み

---

- (1) 新規加算項目等の取得(別紙一覧)
- (2) DPC適用病院としての取組みを強化
  - ① ベンチマークの活用による医療の質の向上
  - ② 新たな機能評価係数の取得
    - ・ 感染対策防止加算
    - ・ 総合入院体制加算 など
  - ③ 出来高加算項目の更なる取得
    - ・ 救急医療管理加算、薬剤管理指導料などの患者の状況に応じて認められる加算項目の取得
  - ④ 多職種からなるチーム医療による取組み
    - ・ 栄養サポートチーム加算 など

## 5 地域連携の取組み

---

地域医療機関との連携を強化し、紹介・逆紹介の向上を図る。

- (1) ※「高岡医療圏地域れんけいネット」を活用した地域医療連携の拡充  
「高岡医療圏地域れんけいネット」に新機能の追加を検討し、病病・病診連携の強化を図る。  
(H22.9月末:16医療機関が加入)
- (2) 地域連携クリニカルパスの運用(糖尿病、急性心筋梗塞等、5大がん)
- (3) 情報交換会の開催(年3回開催:7月、11月、3月)  
高岡医療圏の各医療機関、施設等との連携を円滑に図るため、医療機関、介護老人保健施設、居宅介護支援事業所等の職員を対象に意見交換の場を開催。
- (4) 医師等による開業医訪問  
地域の医療機関等との連携強化を図るため、毎年実施。

## 6 費用削減の取組み

---

- (1) 医薬材料費の効率的な運用
    - ・ 県内の公立病院等との共同見積徴収の実施
    - ・ 全国自治体病院共済会のベンチマーク分析及び活用  
下半期契約において価格交渉を行い薬品費の減を図った。
    - ・ ジェネリック医薬品の採用を推進
  - (2) 医療機器の計画的な更新【計画総額1,200,000千円】  
病院改築時等に購入した高度医療機器の計画的更新(期間:平成21年度から4ヵ年)
    - ・ 22年度更新(3件)【予算額295,000千円】  
MRI装置、多目的デジタルX線テレビ装置、薬局調剤支援システム
  - (3) 空調・電気・機械設備の計画的な修繕【計画総額185,000千円】  
病院改築時に設置した空調・電気・機械設備機器の計画的修繕(期間:平成20年度から3ヵ年)
    - ・ 22年度修繕予定(9箇所)【予算額46,925千円】  
中央監視装置、昇降機(7基分)、エアシューター、炉筒煙管ボイラーなど
  - (4) 燃料費、光熱水費の削減
    - ・ 熱源としている重油・ガスの燃料単価を見極めた効率的な利用
    - ・ 院内照明の節減を図るため、蛍光灯の間引き実施(年間約40万円の削減効果見込み)
-